

当院で過去に肝生検を受けられた方または脂肪肝と言わされた方へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	組織学的に診断されたアルコール性でない脂肪肝炎(non-ASH steatohepatitis)のregistry研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 内科学講座(肝胆膵内科) (職名) 教授 (氏名) 伊藤清顕
研究の対象となる方	1990年から2024年12月31日までに肝生検を施行された非ウイルス性肝疾患患者さん。または肝生検以外の方法で脂肪肝と診断された患者さん。ただし、1日飲酒量80gを超えるアルコール性肝障害患者、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、ウイルソン病、バッドキアリ症候群、ヘモクロマトーシスなど特異的肝疾患患者を除く。
研究期間	研究実施承認日～2027年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 我が国におけるアルコール性でない脂肪肝炎の実態の把握・解明、少～中等量の飲酒をする脂肪肝炎の実態解明を行い、確かな疾患としての実体の確立を図ることを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕 これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や、病理検査などのデータを収集して行う研究です。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、Web上に構築されたプラットフォームに入力し多施設共同でのデータベース構築を行います。病理画像の診断を慶應義塾大学病理部で解析を、日本アイ・ビー・エム社に業務委託を行い実施いたします。</p> <p>〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録から年齢、性別、血液検査結果、病理所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	東京大学医学系研究科 消化器内科 建石良介
試料・情報を利用する	東京大学医学系研究科 消化器内科 建石良介

る学外の者	慶應義塾大学病理部 坂元 亨宇（病理診断） 日本アイ・ビー・エム社（画像解析）
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までに郵送、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部内科学講座（肝胆膵内科） 担当者：（職名）教授 （氏名）伊藤清顕 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線23486）